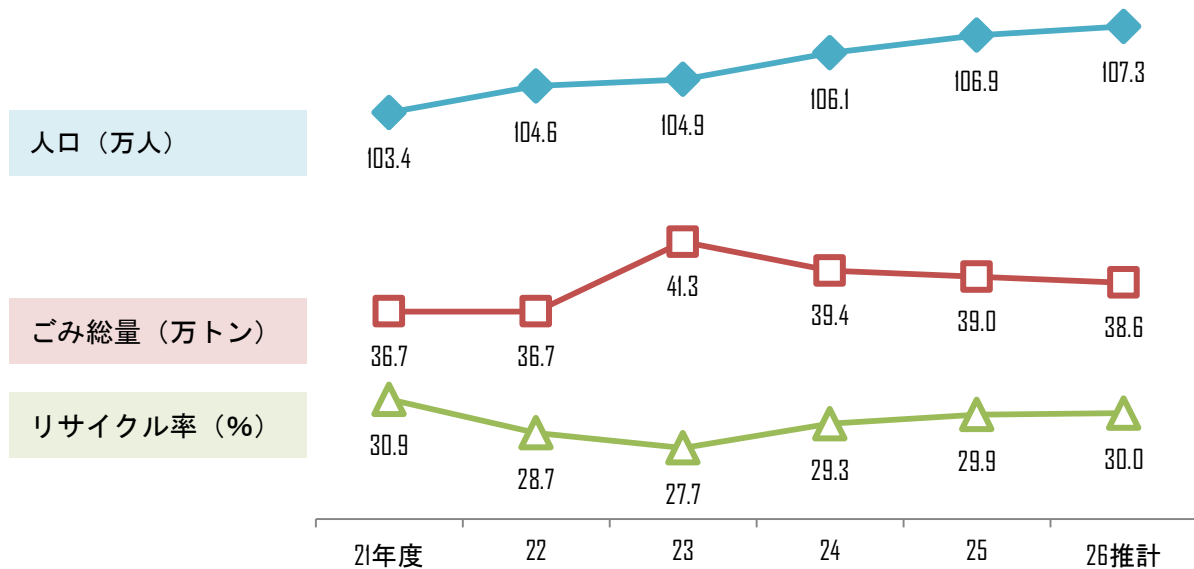


1 平成 26 年度のごみ排出状況等

① ごみ総量・リサイクル率



※ 平成 26 年度は、平成 26 年度上半期（4 月～9 月）の実績を踏まえた推計値

- ・ 平成 21 年度に約 36.7 万トンまで減少したごみ総量は、震災後に急増し、その後も高止まり傾向にある。
- ・ 本市の人口について、現行基本計画策定時（平成 22 年度末）は、平成 27 年度に約 105.1 万人がピークと想定していた。平成 26 年度の時点で、当初の想定よりも 2 万人以上人口が増加していることになる。
- ・ 平成 22 年度から 23 年度にかけて、民間事業者の資源化量について、震災による報告書の紛失等により、一時的にリサイクル率が減少している。近年は、震災前の水準に戻りつつある。

② 生活ごみ

単位：トン、()内は1人1日当たりg/人日

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (推計)	26年度 上半期	25年度 同期比
生活ごみ	231,519 (612)	236,431 (619)	250,966 (653)	246,831 (637)	245,320 (629)	243,000 (620)	126,650	-1,600t -1.2%
家庭ごみ	184,812 (490)	190,162 (498)	199,368 (519)	195,371 (505)	193,059 (495)	191,000 (488)	100,420	-1,420t -1.4%
缶・びん・ ペットボトル等	19,475	19,594	21,497	20,850	21,257	21,300	10,870	-0.3%
紙類 定期回収	10,753	10,781	13,426	13,933	14,341	14,600	7,130	+1.2%
プラスチック製 容器包装	12,956	12,043	12,771	12,584	12,562	12,300	6,230	-2.3%
粗大ごみ等	3,523	3,851	3,904	4,093	4,101	3,800	2,000	-4.1%

※ 平成26年度は、26年度上半期（4月～9月）の実績を基にした推計値

- 平成26年上半期（4月～9月）の**生活ごみ**は、約12.7万トンとなり、昨年度同期比で約1,600トンの減少となった。そのうち**家庭ごみ**については、約10.0万トンとなり約1,400トンの減少となった。
- 26年度の**生活ごみ**量を推計すると約24.3万トンとなった。前年度比では約2,000トンの減少だが、震災前（21年度）との比較では、約11,000トンの増加となった。
- 市民1人1日当たり**家庭ごみ**は488g/人日で、21年度の水準を下回った。
- ここ数年の傾向として、**家庭ごみ**の増加が落ち着きつつある一方、資源物（紙類、缶・びん・ペットボトル等）の増加傾向が見られる。

③ 事業ごみ

単位：トン

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (推計)	26年度 上半期	前年 同期比
事業ごみ	135,266	131,005	161,751	147,017	145,063	142,900	75,420	-1,470t -1.9%
可燃ごみ	102,564	100,649	111,822	112,800	111,095	109,900	56,760	-970t -1.7%
粗大ごみ	24,202	22,766	41,985	26,999	26,782	26,200	15,160	-1.3%
不燃ごみ・ 資源ごみ	8,500	7,590	7,944	7,218	7,186	6,800	3,500	-8.0%

※ 平成26年度は、26年度上半期（4月～9月）の実績を基にした推計値

- 平成26年上半期（4月～9月）の**事業ごみ**は、約7.5万トンとなり、昨年度同期比で約1,500トンの減少となった。
そのうち**可燃ごみ**については、約5.7万トンとなり、約1,000トンの減少となった。
- ここ数年の傾向として、**粗大ごみ**の増加が落ち着きつつある一方、**可燃ごみ**が高止まり傾向を示している。

2 家庭ごみの組成の状況（各年度 4月～10月平均）

単位：％

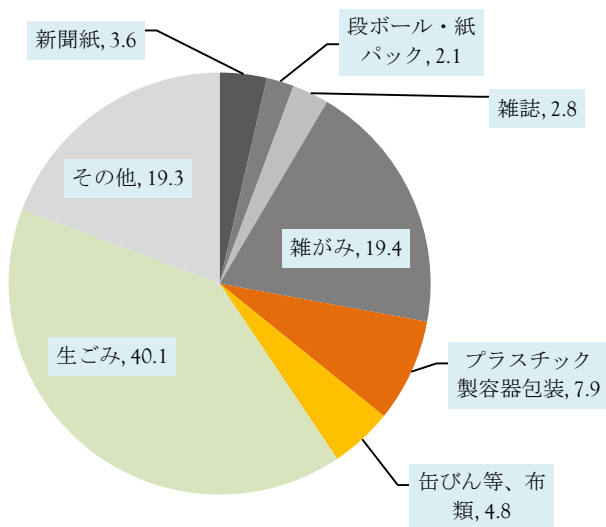
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
資源物混入率	40.6	44.5	44.2	44.0	48.0	50.2
紙類 計	27.9	31.2	28.8	28.4	30.7	33.1
新聞紙	3.6	5.0	4.5	4.0	5.7	5.6
段ボール紙パック	2.1	2.0	2.1	2.6	1.8	2.9
雑誌	2.8	5.2	6.0	5.2	4.4	8.3
雑がみ	19.4	19.0	16.2	16.6	18.8	16.3
プラ製容器包装	7.9	8.4	8.1	8.8	10.5	10.9
缶びん等・布類	4.8	4.9	7.3	6.8	6.8	6.2
生ごみ	40.1	34.0	32.4	34.6	31.9	28.8
その他	19.3	21.5	23.4	21.4	20.1	21.0

※ 資源物混入率：家庭ごみに含まれる、分別すればリサイクルできる資源物の割合

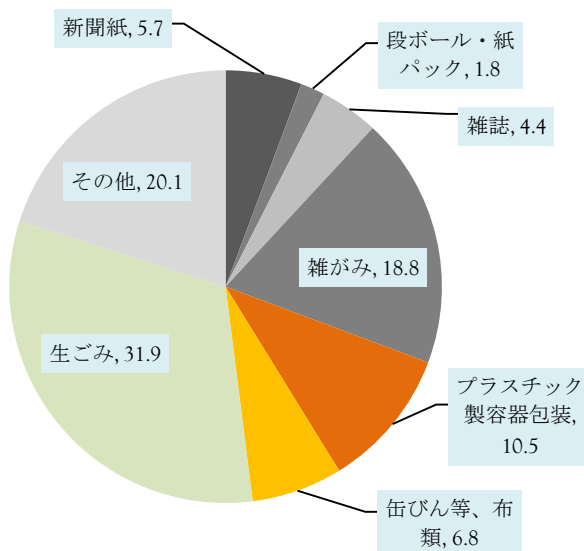
- ・ 平成 21 年度から平成 26 年度について、環境局で毎月実施している家庭ごみ組成分析の 4 月～10 月平均を算出した。
- ・ 近年、雑がみ・生ごみの割合が減少し、新聞紙・雑誌・プラ製容器包装の割合が増加しており、各家庭におけるごみの発生状況や分別状況等に、一定の変化が感じられる。

<家庭ごみ組成グラフ>

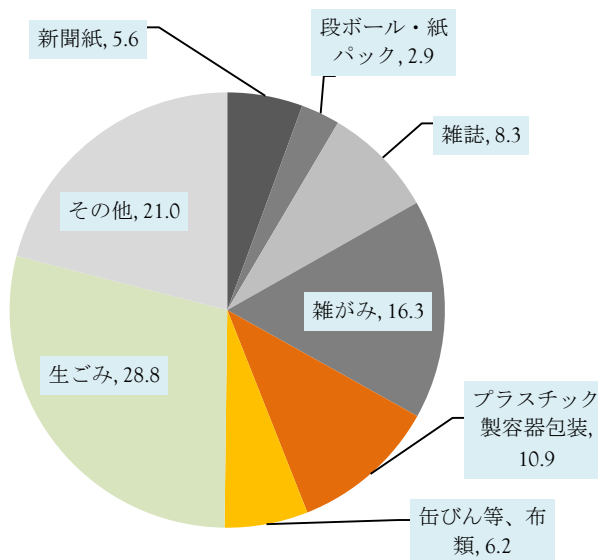
21年度



25年度



26年度



3 今年度のごみ減量・分別キャンペーンについて

① 上半期（4月～9月）の主な取り組み

○ ワケルくんの五つ星☆集積所診断

実施集積所応募期間	5月30日（金）～6月30日（月）
受け付け数	34町内会 99集積所
うち診断済	30町内会 87集積所（10月31日現在）
うち五つ星認定集積所	29町内会 62集積所（ ” ）



○ 分別お悩み相談会「資源のワケかた相談」

実施時期 6月3日～6月30日
 実施箇所数 6か所（みやぎ生協5か所、藤崎百貨店前）
 啓発・相談受け付け人数 啓発人数 約3,000人、相談件数 約170件



○ キャンペーンちらし配布（15,000枚）

クリーン仙台推進員、町内会長 6,000枚
 集団資源回収実施団体への送付 1,500枚
 ごみ処理施設見学者への提供 1,500枚
 公所等配布、レジ懇関係者提供等 3,000枚
 店頭啓発、街頭配布等 3,000枚

緊急分別宣言!!
 みなさん、きちんとワケてますか？

仙台市では、ワケくんをはじめとしたワケルファミリーとともに、分別の大切さを伝えながら、ごみ減量・リサイクルの推進に取り組んでいます。

しかし震災、震災後の混乱を経て、1人ひとりの分別意識が薄れてきているのではないかと懸念されています。

このような状況を心配そとに眺めていたワケルくんは、考えました。

「これを、改めて分別の大切さを意識していただくには...」

「そうだ、緊急分別宣言をしよう。もう一度分別意識を呼び起こそう！」

そこで仙台市では、「緊急分別宣言！みなさん、きちんとワケてますか？」をキャッチコピーとして、ごみ減量・分別キャンペーンを実施し、今年度のワケルくんの活動を全面支援することにいたしました。

みなさんのご協力をよろしくお願いたします!!

「家庭ごみ」に、紙類などの資源物が含まれる割合

38% (前年度) → 47% (今年度)

この年を境として、アップした

キャンペーン目標!

① 家庭ごみ中の資源物の割合を47%から38% (21年度) にします

② 市民1人1日当たりの家庭ごみ量を485グラムから480グラム (21年度) にします

紙類の分別 (紙類の分別)

資源物の分別 (資源物の分別)

家庭ごみに混入していた(紙類)

家庭ごみに混入していた(プラスチック製容器包装)

○ 事業者団体会報への啓発ちらし折り込み（10,400部）

仙台商工会議所会報「飛翔」

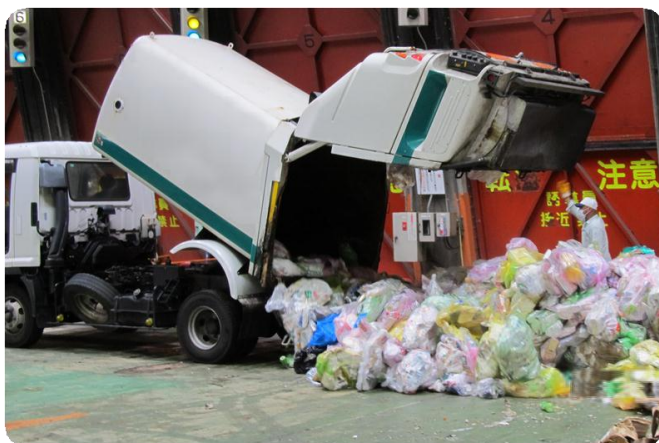
6月5日発行号 8,200部

みやぎ仙台商工会会報

6月10日発行号 2,200部



○ 事業ごみ展開検査（1工場、計11台）



○ その他

事業ごみの分け方・出し方配布 計 13,000部（郵送）

フリーペーパー（仙台リビング・ままばれ）記事掲載

地区連合町内会協議会総会等におけるキャンペーン趣旨説明

等

② 下半期（10月～3月）の取り組み（予定含む）

○ 分別お悩み相談会「資源のワケかた相談」

実施時期 10月5日～11月13日

実施箇所数 6か所（ベガルタ仙台ホームゲーム＋大学5か所）

※ 包装削減キャンペーンとの併催



○ 五つ星☆集積所サミット in 環境フォーラム

日時 11月30日 13:00～13:45

会場 せんだいメディアテーク オープンスクエア
（環境フォーラム開催時間 10:00～16:00）

○ 広報媒体

キャンペーンポスター 約 23,000 枚（ごみ集積所 20,900 枚、公共施設等 1,500 枚）

キャンペーンちらし 約 16,000 枚



○ 小型家電リサイクルモデル事業との連動



○ 仙台市交通局マナーアップキャンペーンとのタイアップ



○ 区民まつり・市民センターまつりにおける広報等



○ 大学生の自主活動支援



○その他の関連施策

事業ごみの分け方・出し方配布

27,000部（郵送予定）

事業ごみ展開検査

2工場（葛岡、松森）各2日間、計20台予定

事業者団体会報

啓発ちらし折込 10,500部（10月～11月）

〃

関連記事掲載（2月号）

4 一般廃棄物処理基本計画の中間評価について

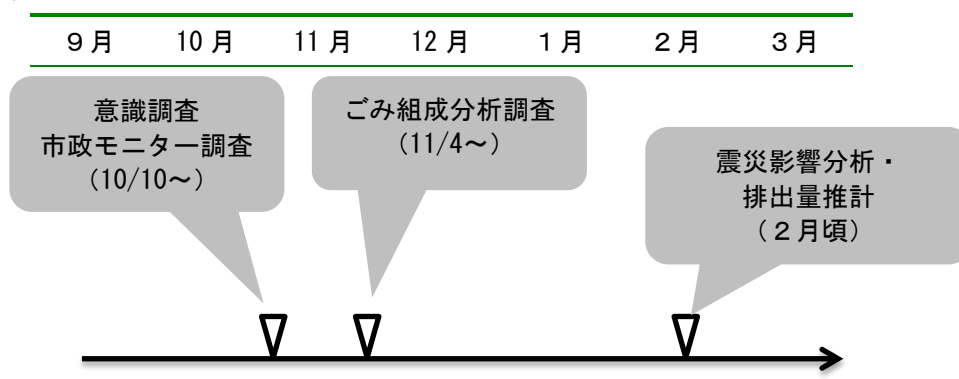
① 平成 26 年度一般廃棄物処理実態等調査（平成 26 年度）

平成 23 年 3 月に策定した「仙台市一般廃棄物処理基本計画」においては、平成 27 年度に計画の中間評価を行うこととしている。中間評価の実施に向けて、現在「一般廃棄物処理実態等調査」を実施中である。

・主な調査項目

- ごみの減量・分別促進に係る市民・事業者意識調査
- 市民・事業者のごみ排出実態調査（組成分析調査）
- ごみ及び資源物の将来排出量推計
- その他（市政モニターを活用した排出実態調査、震災復興活動の今後の見通し）等

・調査スケジュール



② 一般廃棄物処理基本計画の中間評価について

一般廃棄物処理基本計画においては、「平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間を計画期間とします。なお、計画期間中においても、社会経済情勢などの変化を踏まえ、必要に応じて、計画の見直しを行います。特に、計画期間の半ばにおいては、毎年度の評価に加え、計画の中間評価を行います。」としている。

東日本大震災等による、ごみ排出動向の変化にも一定の落ち着きが見られること等を踏まえ、本市においては、当初の想定どおり、計画期間の中間年度である平成 27 年度中に中間評価を実施する。

また、中間評価の結果等を踏まえ、計画本文、ごみ量推計及び目標等について、必要に応じて、同年度末までに基本計画の見直しを行う。